

関連思考

株式会社PriactA 代表取締役 北垣 武文、吉沢 昇司



実学習時間

5h

難易度

★★

受講料

¥13,750

税込

学習目標と狙い

個別事象を論理的に対処できない問題等に遭遇した場合に、全体最適の視点や事象同士の関わり合いを整理しながら、解決に向けた実践方法を学ぶ。

学習プログラム

PDU

5

第1～2回 関連思考とは

(関連思考とは何か、論理思考との対比、関連思考のできること)

第3～7回 可視化のツール

(冰山モデル、時系列パターングラフ、ループ図)

第8～11回 システム原型

(システム原型の種類と事例の紹介)

第12～14回 メンタルモデル

(メンタルモデルとは、推論のはしご、関係マップ)

第15～16回 シナリオプランニング

(シナリオプランニングとは何か、シナリオプランニングのステップ、導入・活用のポイント)

【概要】

事業の現場や組織で生じる問題は様々な要因が複雑に絡まり合うことで顕在化します。成果を出し続けるマネジャーやハイパフォーマーは、こうした問題に対して根本要因を探り当て、適切に対応することで組織運営を行っています。

しかし多くのビジネスパーソンにおいては、時間がないために、生じている問題（現象）そのものに対し対処療法的に手を打ち、その場しのぎな対処を行うことが多くみられます。みなさんの場合はどうでしょうか。

本講座では、一時的に状況は改善する（ように見える）が、時間の経過により、さらに根深い問題を生み出してしまっている「構造そのもの（罫）」を捉える視点を提供します。物事をつながりて捉える関連思考は、論理思考と補完しあうことで成果を大きく高めることができる思考法であり、複雑化した今日では、特に意識して使いこなす必要があると言えます。



事象に対してそれだけを見るのではなく、全体、事象による影響を考えられるようになりました。

受講期間	講義	理解度テスト	演習	チャメール	修了証	修了アンケート	制作年
6ヶ月	16回(平均19分)	あり (5回)	なし	あり	あり	なし	2014



10714